

バイオマス等設備 電力量認定申請方法について

2023年6月1日

1 一般的なバイオマス等設備の電力量認定申請について

2 FIT認定期間中の非FIT非化石分の認定について

電力量認定申請 – 申請時入力項目（バイオマス等）

- バイオマス等設備に関しては通常の申請時入力項目に加え、下記のケースに従い追加で入力が必要となります。

■ 申請時入力項目

- ・法人番号
- ・事業者区分
- ・受電地点特定番号
- ・設備ID
- ・報告年月
- ・対象年月
- ・月間発電量（kWh）
- ・再エネ指定有無区分

■ 化石燃料が含まれる場合の追加入力項目

- ・添付書類（化石分と非化石分が明記されたバイオマス等比率を証跡として添付）

■ 非バイオマス分が含まれる場合に再エネ指定ありとしたい場合の追加入力項目

- ・添付書類（非バイオマス分が明記されたバイオマス等比率を証跡として添付）

バイオマス等設備の申請においては化石、非化石分を含めた全発電量を入力してください。
非化石分はバイオマス等比率に応じて認定機関側で算定します。

電力量認定申請 – 対象年月判定について

- 認定の対象とするデータの対象年月については、一般送配電事業者より通知される「仕訳後の電力量のお知らせ」を元に検針日を確認下さい。
- 検針日を基準として区分ごと、一般送配電事業者のエリアごとに対象年月を判定し、入力ください。

■ 対象年月判定と入力する月間電力量について

1. 一般送配電事業者より送付される「仕訳後の電力量のお知らせ」をご準備下さい
2. 「仕訳後の電力量のお知らせ」内にある「対象期間_終了」に記述されている年月日の翌営業日が検針日となりますので、検針日を確認します。

「仕訳後の電力量のお知らせ」サンプル

情報区分	対象期間_開始 (yyyymmdd)	対象期間_終了 (yyyymmdd)	送信者コード	送信者名称	受信者コード	受信者名称
特高・高圧発電者の仕訳後の電力量のお知らせ (kWh)	20191001	20191031	●●	●●電力株式会社	4●●●2	●●株式会社
受電地点特定番号	発電者名称	発電場所	発電B Gコード	契約識別番号1	契約識別番号2	対象期間内の合計値
●●2000000●●●●●●●●●●●●●●	●●合同会社 (●●風力発電所)	青森県●●	●●●			1601
日付セル1	日付セル2		1001	1002	1003	1004
						0
						0

「対象期間_終了」の翌営業日が検針日となります（この場合は11月1日）

※対象期間の合計値を「月間発電量」として入力します

3. その検針日を基準に次ページ以降の区分・地域（送配電会社のエリア）ごとに対象年月を判定します。

対象年月判定の詳細ルールは事業者説明資料を確認ください。

バイオマス等設備における燃料区分について

- バイオマス等設備における燃料区分は下記となります。

化石/バイオマス区分	燃料区分	内容	電力量認定対象	再エネ指定区分	
非化石	バイオマス	A	メタン発酵ガス	○	有・無 両方選択可能
		B	間伐材等由来の木質バイオマス	○	有・無 両方選択可能
		C	一般木質バイオマス・農産物の収穫に伴って生じるバイオマス個体燃料	○	有・無 両方選択可能
		D	建設資材廃棄物	○	有・無 両方選択可能
		E	一般廃棄物・その他バイオマス	○	有・無 両方選択可能
		G	農作物の収穫に伴って生じるバイオマス液体燃料	○	有・無 両方選択可能
		化石	非バイオマス	X	水素
Y	アンモニア			○	無のみ選択可※3
Z	廃棄プラスチック等 非バイオマス燃料※1			○	無のみ選択可
F	その他（助燃剤等）※2			×	認定対象外

※1 廃棄物のうちバイオマスでない燃料

※2 化石分はF区分に入れてください。ただし、起動時又は停止時のみに使用し、発電時に使用しない助燃剤は、備考欄に「起動時又は停止時のみに使用」と記載し、バイオマス比率の計算には含めないものとします。

※3 水素・アンモニア燃料を使用した電源において燃料比率の提出ルールは次ページに準ずるものとし、計算方法は以下例を参考としてください。

■ バイオマス等燃料比率計算例 <[https://www.biprogy.com/solution/uploads/bioetc_hiritsu\(setsubi-id_jigyoshamei\).xlsx](https://www.biprogy.com/solution/uploads/bioetc_hiritsu(setsubi-id_jigyoshamei).xlsx)>

電力量認定申請 – バイオマス等比率の提出（毎月）

- バイオマス等設備に関しては燃焼させる燃料の割合が変更になる可能性があるため、毎月のサンプリングによりバイオマス等比率及び算出根拠となる添付書類を提出してもらう必要があります。※1
- 設備登録時に「申請計画使用燃料一覧」を提出していることが前提で下記のケースにおいては毎月の提出を省略することができます。
- FIT、卒FIT、RPSで設備ID入手済みであり非化石電源登録を行っていないバイオマス等設備については初回電力量認定申請時までに「申請計画使用燃料一覧」を提出ください。（Webサイトからダウンロードしたフォーマットに記入し、押印後PDFで提出）

■ バイオマス等比率を提出しなくてよい場合

1. 化石燃料が燃料に含まれることがなく、使用燃料がバイオマス燃料（燃料区分X, Y, Z以外）のみ場合
2. 化石燃料が燃料に含まれることがなく、使用燃料にバイオマス燃料以外（燃料区分X, Y, Z）が含まれる場合において、全量「再エネ指定無」とする場合

※1 コロナウイルスによる影響でやむを得ずサンプリングができない事業者については、そのサンプリングができない一定期間について、下記1、2の方法で申請した値をサンプリング結果として電力量認定を実施致します

1. 過去のサンプリング結果（前年同月の値、もしくは昨年度の平均値）を使用する
2. 過去実績がない場合は申請計画使用燃料一覧の値をもってサンプリング結果とする

ただし、サンプリングが可能な期間となり、著しく上記の方法で提出された値とサンプリング結果が乖離する場合は遡及して認定量を取り消す等の対応を行う可能性がある旨ご認識ください。

電力量認定申請 – 申請方法（全般）

- 電力量認定申請は認定業務を委託しているBIPROGYが準備するポータルサイトより登録することとなります。（URLはBIPROGY Webページに公開中）
- バイオマス等設備の申請については、その他の非化石電源（太陽光等）と同一のファイルに電力量を記入し提出ください。

■ 申請書イメージ

電力量認定申請書								
						申請日		
* EXCELファイル名「denryokuryou_shinsei_yyyymm(xxx).xlsx」の(xxx)に事業者名を、yyymmに対象年月を記入ください。								
■法人番号								
■事業者区分								
■申請設備一覧							※ 任意入力項目となります	
NO	受電地点特定番号	設備ID	月間発電量(kWh)	報告年月(yyyy/mm/dd)	対象年月(yyyy/mm/dd)	再エネ指定有無区分	対象期間_開始(yyyymmdd)	対象期間_終了(yyyymmdd)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								

■ 電力量認定申請書：

[https://www.biprogy.com/solution/lob/energy/non_fit/data/denryokuryou_shinsei_yyyymm\(xxx\).xlsx](https://www.biprogy.com/solution/lob/energy/non_fit/data/denryokuryou_shinsei_yyyymm(xxx).xlsx)

※ファイル名は「denryokuryou_shinsei_yyyymm(事業者名).xlsx」としてください。

電力量認定申請 – 申請方法（バイオマス等関連部分）

■ 電力量認定申請変更画面（ページ下部）

The screenshot shows the '電力量認定変更画面' (Electricity Certification Modification Screen) for user HGRN003. The page includes a header with the user ID, company name (BIPROGY株式会社), and a 'ログアウト' (Logout) link. Below the header are input fields for '対象期間開始日' (Target Period Start Date) and '対象期間終了日' (Target Period End Date). The main section is titled 'バイオマス等燃料比率情報' (Biomass and Fuel Ratio Information) and contains a grid of input fields for fuel categories A through Z. A summary row shows '各燃料区分の合計値(%)' (Total value for each fuel category (%)) with a value of 0.000. Below this are two file upload sections: 'バイオマス等比率計算書' (Biomass and Ratio Calculation Book) and '申請計画使用燃料一覧' (List of Fuel Used in Application Plan), both with '参照' (Reference) buttons and a '(最大1GB)' (Maximum 1GB) limit. At the bottom, there is a '認定ステータス' (Certification Status) dropdown menu set to '未チェック' (Not Checked), a '事業者からの通信欄' (Communication from Business Operator) area, and a table with columns for '登録日時' (Registration Date/Time) and '更新日時' (Update Date/Time). The registration date is 2022年02月10日. At the very bottom, there are three buttons: '変更' (Change), '削除' (Delete), and '戻る' (Back). Three red boxes highlight specific areas: one around the fuel category input fields, one around the file upload buttons, and one around the '変更' button.

③変更をクリック

①バイオマス等比率を入力

・バイオマス等比率は、小数第4位を四捨五入し、小数第3位までで提出ください。

※四捨五入の都合上、合計のバイオマス等比率が100.000%とならない場合、以下の通り対応ください。

- 100%に満たない場合は、化石分、非化石再エネ指定無の順で端数を一括加算
- 100%を超える場合は、非化石再エネ指定有、非化石再エネ指定無の順で端数を一括減算

・半角数字のみで入力ください。

・複数の使用燃料が同燃料区分に該当する場合、バイオマス等比率を合算の上記載ください。

②参照をクリック

・複数ファイルのアップロードが可能です。

・従来、算出根拠をバイオマス等比率計算書へ記載していた事業者は、サンプリング証跡等と併せてアップロードください。

基本の登録方法につきましては、事業者説明資料をご確認ください。

<https://www.biprogy.com/solution/lob/energy/non_fit/pdf/non_fit_20201013.pdf>

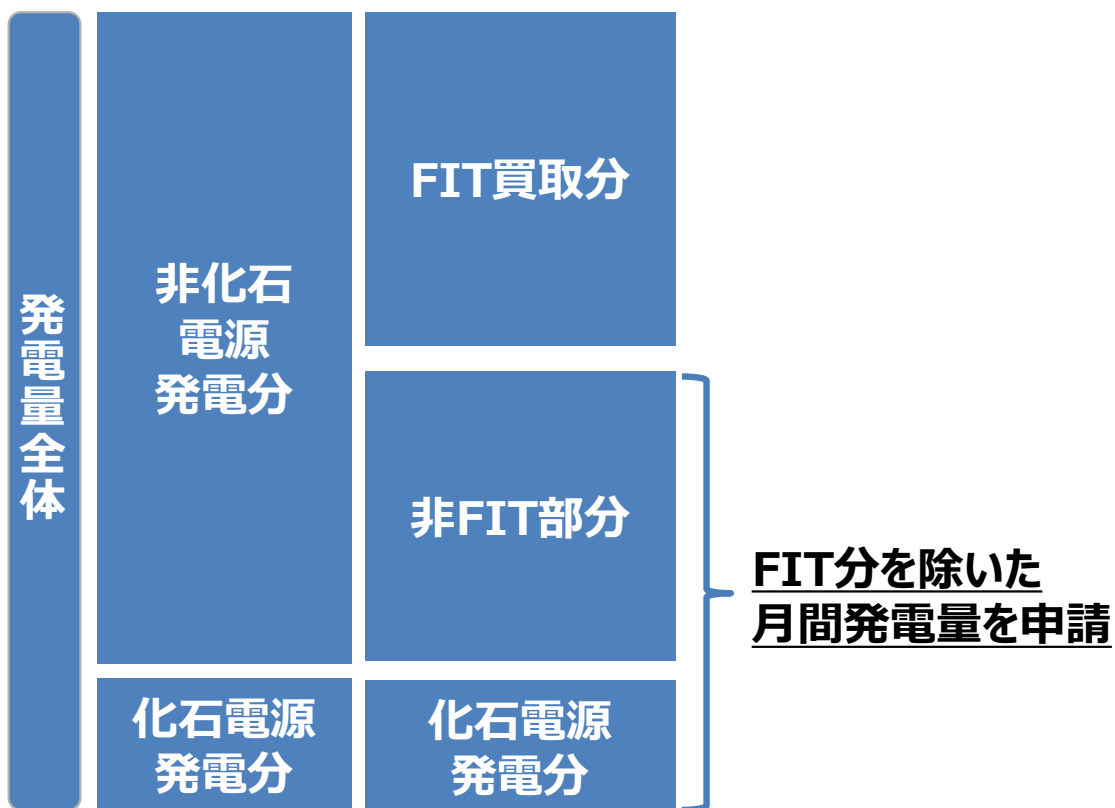
1 一般的なバイオマス等設備の電力量認定申請について

2 FIT認定期間中の非FIT非化石分の認定について

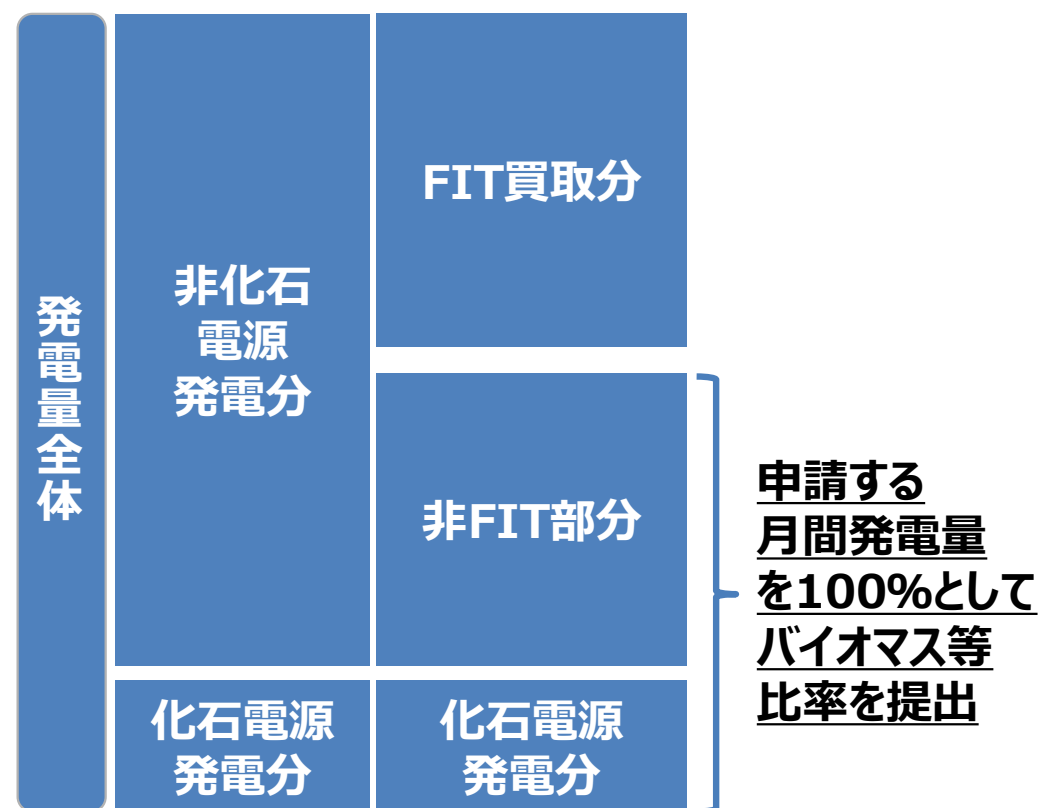
FIT認定期間中の非FIT非化石分の電力量認定申請について 1

- FIT認定中の非FIT非化石分の申請については、FIT分を除いた非FIT分の月間発電量で申請下さい。（BGコードでFIT分と非FIT分は分かれています）
- バイオマス等比率については、FIT分を除いた申請書に記入する発電量を100%としたものを提出下さい。

電力量認定申請書に記入する月間発電量について



バイオマス等比率について

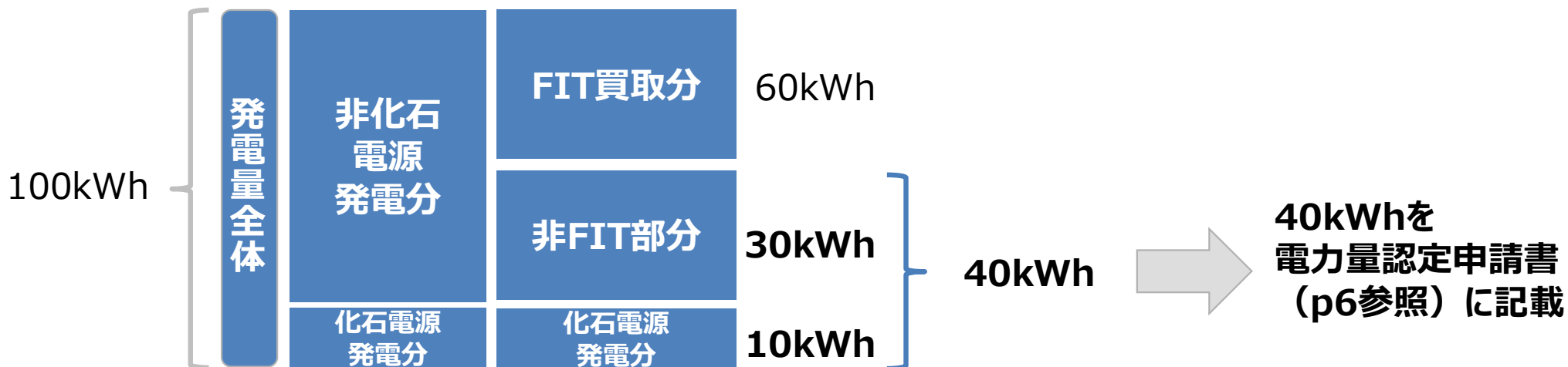


FIT認定期間中の非FIT非化石分の電力量認定申請について 2

- FIT認定中の非FIT非化石分の電力量認定申請の具体例は下記となります。

■ 設備全体で月間100kWh発電、FIT買取分が60kWh、非FIT分が40kWh（うち化石分が10kWh）のケース

1. 電力量認定申請書に記載する電力量について



■ 申請書記入イメージ

上記の場合月間発電量の箇所には40kWhを記入。

電力量認定申請書

							申請日		
*EXCELファイル名「denryokuryou_shinsei_yyyymm(xxx).xlsx」の(xxx)に事業者名を、yyymmに対象年月を記入ください。									
■法人番号		1234567890123							
■事業者区分		小売事業者							
■申請設備一覧							※ 任意入力項目となります		※ こ
NO	受電地点特定番号	設備ID	月間発電量(kWh)	報告年月	対象年月	再工事指定有無区分	対象期間開始(yyyymmdd)	対象期間終了(yyyymmdd)	認定
1	1234567890123456789012	A123456789	221	2020年1月	2019年11月	有	20191010	20191110	
2	1234567890123456789013	A123456785	3787	2020年1月	2019年11月	有	20191015	20191115	
3	1234567890123456789014	A123456780	11129	2020年1月	2019年11月	有	20191020	20191120	

FIT認定期間中の非FIT非化石分の電力量認定申請について 3

- FIT認定中の非FIT非化石分のバイオマス等比率の具体例は下記となります。

■ バイオマス混焼設備において、全体で月間100kWh発電、FIT買取分が60kWh、非FIT分が40kWh（うち化石分が10kWh）のケース

2. バイオマス等比率について



申請電力量40kWhを100%として
バイオマス等比率を算出

全体が40kWhなので
非FIT部分は30kWh÷40kWh×100で
75%

化石電源発電分は
10kWh÷40kWh×100で25%

■ バイオマス等比率入力イメージ

HGRN003 電力指認定変更画面 2023年05月23日 ログアウト
EPROG株式会社 (事業者立場用) 伊藤 啓知

対象期間開始日: [] 対象期間終了日: []

バイオマス等燃料比率情報

燃料区分A	燃料区分B	燃料区分C	燃料区分D
[]	[]	[]	[]
燃料区分E	燃料区分G	燃料区分Z	
[]	[]	25.000	
燃料区分X	燃料区分Y	燃料区分Z	
[]	[]	75.000	
各燃料区分の合計値(%)			
0.000			

上記の例だと
F (化石分) : 25%※1
Z (非バイオマス分) : 75%※1
で提出。※2

算出根拠となる添付資料（本資料
P5参照）は別途提出下さい。

※FIT買取上限を超えるバイオマス分は、燃料区分A、B、C、D、E、Gに比率を記入ください。

問い合わせ先

- 本認定業務についてご質問がある場合は下記問い合わせ先にお問い合わせ下さい。
- 問い合わせを行う前に必ずQA表及びポータルサイト操作ガイドを確認ください。
- 質問内容を正確に把握し回答するため、電話での問い合わせは緊急時（手続きが間に合わない等）に限り、原則メールにて問い合わせ願います。

非FIT非化石認定業務 事務局 (BIPROGY内)

お問合せ用電話番号：050-3132-0734

お問合せメールアドレス：non_fit@ml.biprogy.com

(参考) 設備区分について 1

発電設備	区分			再エネ指定有無	
	大項目	中項目	小項目		
太陽光	2,000kW以上			有または無	
	500kW以上2,000kW未満			同上	
	10kW以上500kW未満			同上	
	10kW未満			同上	
	ダブル発電	10kW以上			同上
		10kW未満			同上
風力	陸上風力			同上	
	陸上風力 (リプレース)			同上	
	洋上風力 (着床式)			同上	
	洋上風力 (浮体式)			同上	
一般水力	30,000kW以上			同上	
中小水力	5,000kW以上30,000kW未満			同上	
	1,000kW以上5,000kW未満			同上	
	200kW以上1,000kW未満			同上	
	200kW未満			同上	
中小水力 (既設導水路活用型) ※1	5,000kW以上30,000kW未満			同上	
	1,000kW以上5,000kW未満			同上	
	200kW以上1,000kW未満			同上	
	200kW未満			同上	
混合揚水				同上	

※1 既に設置している導水路を活用して、電気設備と水圧鉄管を更新するもの。

(参考) 設備区分について2

更新

発電設備	区分			再エネ指定 有無
	大項目	中項目	小項目	
地熱	15,000kW以上／未満			有または無
		リプレース	全設備更新型	同上
			地下設備流用型	同上
			地下設備流用型	同上
バイオマス	メタン発酵ガス（バイオマス由来）	下水汚尿・家畜糞尿・食品残さ 由来メタンガス		同上
	間伐材等由来の木質バイオマス	2000kW以上	間伐材、主伐材※2	同上
		2000kW未満		同上
	一般木質バイオマス・農産物の収穫 に伴って生じるバイオマス個体燃料	10,000kW以上	製材端材、輸入材※2、 剪定枝※3、パーム椰子殻、 パームトランク	同上
		10,000kW未満		同上
	農作物の収穫に伴って生じるバイオ マス液体燃料	パーム油		同上
	建設資材廃棄物	建設資材廃棄物（リサイクル木 材）、その他木材		同上
	一般廃棄物・その他バイオマス	剪定枝※3・木くず、紙、食品 残さ、配色用油、黒液		同上
廃棄プラスチック			無	
原子力			無	
水素 ※4			無	
アンモニア ※4			無	

※2 「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」（林野庁）に基づく由来の証明のないものについては、建設資材廃棄物として取り扱う。

※3 一般廃棄物には該当せず、「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」（林野庁）に基づく由来の証明が可能な剪定枝については、一般木質バイオマスとして取り扱う。

※4 水素・アンモニア燃料を使用した電源であることをその他関係法令又は公的機関に対して届出済であること。

(参考) 複数の燃種の混焼発電の場合

令和元年7月第33回制度検討作業部会資料に基づき作成

- バイオマス等の混焼発電の場合、一般送配電事業者は当該発電設備から発電される電力量は把握しているものの、託送供給等業務上、燃種毎の発電量までは把握することはできない。
- 他方、FIT制度においては、混焼発電の場合は、混焼比率に応じて電力量を按分することでFIT制度の対象となる電気の買取電力量を算定している。
- 非FIT非化石電源の混焼発電の電力量認定においても、既に運用されているFIT制度と同様の方法に基づき、混焼比率に応じて電力量を按分することで、電力量認定を行うこととしてはどうか。
- 具体的には、設備登録の段階で発電事業者より混焼比率の計画の提出及び毎月のサンプリングの実施等を行い、国※に報告することとしてはどうか。

※国及び国の委託事業者を含む

